

リッチな 人脈の 作り方

プロが伝授 すぐに使えるテクニック!

実例やアンケートから見てきたように、大学院では人脈作りが欠かせないが、うまくチャンスを生かしていない人もいようだ。社会人大学院での人脈作りのプロに、大学院生活の段階ごとにポイントを聞いた。

段 1 階

大学院入学前

- ・大学院ごとの人脈の特徴をつかむ
- ・MBA合同セミナーなども利用

段 2 階

授業

- ・グループでの共同作業がチャンス
- ・1年目に多めに授業を取る

段 3 階

勉強会・飲み会

- ・勉強会へは自分なりのテーマを
- ・趣味などでも付き合いをもつ

段 4 階

大学院修了後

- ・「会う」ということが重要
- ・1人に負担を集中させない



NPO法人
MBAキャリアデザイン研究所
代表理事

庄司 祐子さん

青山学院大学文学部卒業。日商岩井株、外資系企業等数社に勤務、04年に立教大学大学院ビジネスデザイン研究科を修了。06年より、キャリア・コンサルティング事業を営むセドナ株を設立。NPO法人MBAキャリアデザイン研究所代表。

数々のテクニックはあれど
カギは「信頼を得ること」

人脈作りを成功させるには、入学説明会などで事前に情報を集めておく必要があると語る庄司祐子さん。

「学校によっては、1丁系に特化、起業を目指す人を中心に」など、意図をもって学生を選抜しているところもあります。複数の大学院が集まる合同セミナーなどを利用するというのも、比較しやすい方法です」

1年目は授業を多く取るのが得策だという。その理由は？

「2年目は修士論文で忙しくなるので、比較的時間のあるうちに授業で人脈を作ることです。苦手な分野の授業を取って、自分の弱点を補う人脈を築く手もあります。SNSなどを会話のきっかけに、勉強・仕事だけでなく趣味の話題もできると、付き合いはより深まるでしょう」

人脈リッチになるには、小さなことでも実行することが大切だという。「例えば、授業が終わったとき、みんな飲みに行きたそうだけど、誰かが言い出さないと決まらない」といったことはよくあります。そこで勇気をもって、飲みに行こう! と呼びかける。そういう人は誰からも信頼され、この人のために何かしたい、と、周りに人が集まってくる」